

市内の放射線量・放射性物質測定結果について

大気中の放射線量

環境保全課 ☎224-5894

測定日…6月14日

測定地点…市内を5km四方に区分し、それぞれの中心付近にある公共施設を各1施設、計7施設で測定。

測定方法…放射線測定器を用い、地表からの高さ5cm、50cmの位置を測定。

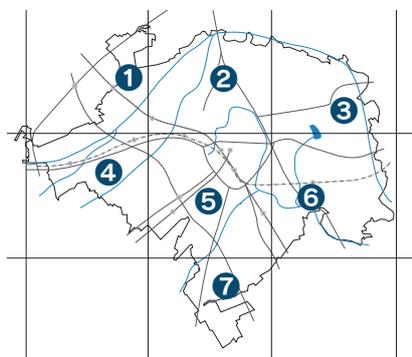
* 文部科学省の示した目安の、小学生以下の子どもの生活空間である地表50cmの高さのほか、子どもが寝転がって遊ぶことと土からの影響を考慮した地表5cmの高さで測定。

測定結果…測定値は、0.06~0.10 $\mu\text{Sv}/\text{h}$ の範囲でした。この値は、文部科学省が示す、学校における屋外活動の暫定的な目安である1時間当たり3.8 μSv と比較して十分低い値で、問題のない状況でした。また、この値から一定条件のもと算出(注)した年間値(0.32~0.53mSv)は、国際放射線防護委員会の2007年勧告による平常時における一般公衆の被ばく限度の年間1mSv(1,000 μSv)と比べても低い値でした。

注：測定値が1年間続くとし、1日のうちの屋外活動が8時間、屋内活動が16時間として算出。

単位： $\mu\text{Sv}/\text{h}$

	測定場所	所在地	測定時刻	測定値(地表5cm)	測定値(地表50cm)
①	名細第二保育園	小堤	午後 1時32分	0.10	0.08
②	山田小学校	山田	午前11時 8分	0.08	0.07
③	川越運動公園	下老袋	午前10時13分	0.07	0.07
④	霞ヶ関第二保育園	かすみ野2丁目	午後 2時16分	0.07	0.07
⑤	大塚小学校	南大塚	午後 3時 1分	0.06	0.07
⑥	南古谷小学校	木野目	午前 9時34分	0.07	0.07
⑦	児童遊園(八幡神社)	下赤坂	午前 8時45分	0.10	0.09



* $\mu\text{Sv}/\text{h}$ = マイクロシーベルト/時間。1時間当たりの放射線による人体への影響を表す単位。1回のレントゲン検診で受ける放射線の量はおよそ50 μSv 程度。

* 県がさいたま市(4階建ての建物の屋上、約18mの地点)で測定した平成22年4月から同23年3月11日までの測定値は、0.03~0.06 $\mu\text{Sv}/\text{h}$ の範囲です。

* 測定は、アスファルトなどで覆われていない土の上で行いました。

プールの水の放射性物質

市民プール=公園整備課 ☎224-5965

学校プール=教育指導課 ☎224-6114

測定の結果、すべての調査地点で不検出となりました。

単位： Bq/kg

採水場所	採水日	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
初雁公園水泳プール	6月19日	不検出	不検出	不検出
霞ヶ関小学校プール	6月13日	不検出	不検出	不検出
富士見中学校プール		不検出	不検出	不検出

* Bq/kg = ベクレル/キログラム。水1kgに含まれる放射線の量を表す単位。

* 不検出 = 放射性物質を検出できる最小の値(検出限界値)より小さいこと。検出限界値は、ヨウ素、セシウム共におおむね10 Bq/kg です。

* 水道水摂取に関する国の基準は、放射性ヨウ素 = 300 Bq/kg (乳児は、100 Bq/kg)、放射性セシウム = 200 Bq/kg です。また、海水浴場の水質に関する国の目安は、放射性ヨウ素 = 30 Bq/l (kg)、放射性セシウム = 50 Bq/l (kg) です。

市内で採取した水道水の放射性物質の検査結果、および埼玉県が実施している農畜産物への放射性物質の影響調査の結果、6月23日現在、測定値はいずれも暫定規制値を下回っています。また、最新の情報は、市ホームページから確認することができます。